

令和7年度学校給食表彰(文部科学大臣表彰)について

1. 趣旨

学校給食表彰は、学校給食の実施に関し、優秀な成績をあげた学校及び共同調理場を「学校給食優良学校等」、並びに特に功績のあった学校給食関係者及び学校給食関係団体を「学校給食功労者」として、文部科学大臣が表彰することにより、学校給食の普及及び充実を図ることを目的とする。

2. 対象

- (1) 学校給食を実施している国公立の小学校、中学校、義務教育学校、夜間課程を置く高等学校、中等教育学校、特別支援学校及び共同調理場
- (2) (1)に勤務する校長、場長、副校長、教頭、教諭、栄養教諭、学校栄養職員、調理員等の教職員、(3)に掲げる学校給食関係団体の代表者及びそれに準ずる者、並びにその他学校給食の実施に関し、特に功績があったと認められる個人
- (3) 学校給食会、学校給食研究団体、学校栄養士会その他学校給食に関し自主的に組織的な活動を行っている団体

3. 令和7年度学校給食表彰(文部科学大臣表彰)

○学校給食優良学校 宇都宮市立清原北小学校

【功績概要】

地元生産者や地域との交流から地場産物を活用した学校給食の提供につなげ、小規模校の特徴を生かした給食指導や食事マナーの指導に積極的に取り組んでいる。健康指導の取組「スクスク」を教育課程に位置づけ発育・健康面、食生活、運動面について継続的な指導と家庭との連携を図っている。児童会(給食委員会)では、行事食や食事マナー等について「給食パンフレット」や「食育動画」を作成したりするなど学校全体で食育に取り組んでいる。

○学校給食功労者 金澤 弘美 氏(真岡市立真岡中学校 栄養教諭)

【功績概要】

平成28年学校給食を生かした食育推進事業検討委員として、「学校給食レシピ」の作成に尽力した。また、令和元年には栃木県児童生徒健康管理委員や食物アレルギー対応事例集作成委員などを務め、栃木県の児童生徒の健康増進について話し合い、食物アレルギーの対応事例を持ち寄り検討するなど給食時の事故の防止に貢献した。常に真摯に職務を遂行する姿勢は、他の栄養教諭等の模範である。

(平成30年度 全国大会発表)

第69回全国学校給食研究協議大会の分科会「小学校における学校給食を中心とした食育」において発表者として実践発表を行った。

4. 表彰式

令和7(2025)年8月5日(火) 第2回全国学校給食・栄養教諭等研究協議大会(茨城県)にて表彰済み。